

# 海辺の植物を調べよう

中学年程度

季節：春 時間：3～5時間

-  砂浜に生えている植物を見つけ、根をほって様子を調べましょう。
-  砂浜に生えているいろいろな植物の生え方や葉、茎の様子を調べましょう。
-  水分が少ない、塩分を含んだ風が吹くなど、きびしい環境の砂浜に生育する植物の知恵を考えましょう。

## さあはじめよう

(進め方)

- 1 参加者を3～5人のグループに分けます。
- 2 グループごとに、調べる場所を決めます。
- 3 砂浜に生えている植物の根をほってみます。根の生え方、根の長さを調べ記録します。波打ち際からの距離による根の様子の違いを考え話し合います。  
(ワークシート1)
- 4 砂浜に生えているいろいろな植物の根、葉、茎の様子を観察し、その特ちょうを見つけ記録します。調べた植物をもちより、砂浜の厳しい環境の中で育っている植物の知恵を考えます。  
(ワークシート2)

### 準備

用意するものは  
 ワークシート(次のページ)  
 筆記用具 バインダー  
 ルーペ スコップ  
 ナイロンぶくろ 定規  
 カメラ  
 服装は  
 長そで、長ズボン・帽子

### 活動の場所

砂浜

#### 気をつけよう!

貴重な植物を大切にするため、必要なものだけを採集しよう。  
 指定公園の中では採集しないようにしましょう。



## 資料

海岸に見られる特徴的な植物

砂浜には他の地域に見られない特徴的な植物が見られます。植物の生えていない波うち際から内陸に向かってだんだんと植物が生え、種類も多くなってきます。

砂浜は夏には表面温度が60度近くにもなり、はだしで歩けなくなるくらいです。また、塩分を含んだ風が砂をはこんで吹いてくるときもあります。そんなきびしい環境の中でも植物が生育しています。

波うち際に近いほうには、背の低いコウボウムギ、ハマニガナ、ハマヒルガオ、スナビキソウなどが生えています。



コウボウムギ



ハマニガナ



ハマヒルガオ



スナビキソウ

少し奥にはいるとハマボウフウ、ケカモノハシ、ハマゴウなどが生えています。



ハマボウフウ



ケカモノハシ



ハマゴウ

きびしい環境の砂浜に生えている植物の葉は、強い光線を照り返す仕組みや乾燥に耐える仕組みを持っています。また、塩分を含んだ潮風が吹いても耐えられる仕組みを持っています。





## 海辺の植物を調べよう

調べた日	年 月 日 ( )	グループ名	
時間	時 分 ~ 時 分	氏名	

調べた場所

いろいろな植物をみつけてみよう

	見つけた植物	葉や茎のようす	根のようす	花や実のようす
1				
2				
3				
4				
5				

海辺の植物の特徴とくちょうをまとめよう

どんな工夫をしているか話し合おう